料金別納郵便

壁の時

六田知弘 写真展

time of walls
Tomohiro Muda
Photography
Exhibition

2026

9.27 sun ___

10.11 sun

at 101 honogra

開廊時間　平日 / 13:00 ___ 17:00
　　土日祝 / 11:00 ___ 18:00

休廊日　水・木曜日

写真家
六田知弘 ムダ トモヒロ

1956年奈良県生まれ。

1982年よりヒマラヤ山中の村に暮らして撮影し、1988年最初の個展「ひかりの素足 ― シェルパ」を開催。

以降、「自然や宇宙と人間との根源的なつながり」を探りながら、もの、石、水、火、壁、人、蓮、震災の被災物など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表する。

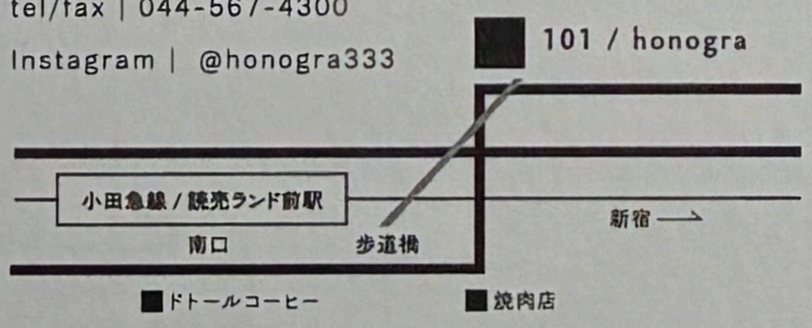
また、「祈り」と「時」をキーワードに仏像などの日本美術のほか、ヨーロッパ中世のロマネスク美術、雲岡石窟やボロブドゥールなどアジア各地の仏教遺跡や文化財の撮影も数多く手がける。

101 honogra

2140037
神奈川県川崎市多摩区西生田1-8-1 藤和読売ランド前コープ101

tel/fax | 044-567-4300

Instagram | @honogra333



写真家・六田知弘。被写体の「存在」と、そこから放たれる「真実の光」を捉える写真家として、多くのアートファンを魅了し続けています。

かつて興福寺北円堂で、夕暮れ時に扉の隙間から夕日が射し込み、照らされた無著像の瞳に生命を吹き込んだ奇跡的な瞬間を切り取った作品は、静寂に包まれた堂内とは裏腹に、見る者の心を激しく揺さぶりました。このように、仏の奥に潜む祈りや時の記憶を写し出してきた六田氏が、今回 honogra で披露するのが「壁シリーズ」です。

切り取られた壁の表情は一見、計算されたモダンな抽象画のように見えます。しかしそれは、意図して造られた世界ではなく、現実の世界にただ存在する風景そのものです。作為のないありのままの光景から、人間の想像力を超えた真実を切り取る。それこそが六田知弘の眼の真価であり、仏から見過ごしがちな壁にまで通底する六田氏がレンズを通して伝え続ける確かな現実なのです。

「これが写真なのか」と思わず触れたくなってしまう壁の質感。虚と現実の間に広がる世界を、どうぞお楽しみください。

文 / honogra 小松義宜